

がんバイオマーカーの探索と新規がん診断法・治療法の開発に関する研究

患者様の検体・情報の研究利用についてのお知らせ

本研究の目的

本研究は、東京大学医学部附属病院免疫細胞治療学講座で実施している研究です。目的は、効果的ながん治療の開発のために、がん免疫治療を受けられた患者様の免疫環境に関連したバイオマーカーを詳細に解析し、新しいがん治療法を研究し、将来的に実用化を目指しています。

本研究の概要

本研究実施に際し、既に東大病院で癌免疫療法の臨床試験に参加された患者様の検体（リンパ球、血漿、血清など）で、臨床試験で使用されずに保存されている検体を用いて、免疫調節分子の解析を行います。また、診療記録（カルテ）の中から、各種の診療情報（年齢、癌の組織型、進行期、予後など）を記録した上で、免疫調節分子の情報とともに分析します。研究対象として、東大病院の各診療科と免疫細胞治療学講座との共同で実施した臨床試験に参加された患者様の検体及び診療録を利用させていただきます。

対象とする期間 2006年1月6日から2012年12月31日まで

プライバシーの保護に関して

研究において利用させていただく検体は、既にごがん免疫治療の臨床試験実施時に採取され、保管されているものの残りをを用いるので、患者の皆様への身体的負担はありません。また診療情報や臨床研究実施時の記録とその後の日常の診療業務の中で生み出されたデータを、患者の皆様個人を直接特定できない匿名化情報として収集した上で、厳格に保護します。

この研究課題の全ては、東京大学大学院医学系研究科・医学部 倫理委員会における審査を受け承認を得られたものです。もしこの研究についてのご質問がおありの場合は、研究責任者までいつでもご質問ください。又、ご自身の検体・情報を本研究に利用することについて、ご了承いただけない場合には、以下の研究責任者にご連絡ください。なおその場合においても、皆様の診療において不利益が生じることは全くございませんのでご安心ください。

平成 25 年 3 月 1 日

研究責任者

東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学

特任准教授 垣見和宏

連絡先：03-5805-3163 （直通）